

LCC News Letter 9

6 January 2011 LCC広報担当

マイクロファイナンス・インターナショナル
コーポレーションに、KDDIが18.4億円を出資

KDDI Invests \$22m in Microfinance International Corporation (MFIC) to Develop Global Mobile Payment Platform. (Thursday, January 6, 2011) .

KDDI Corporation, a Japanese telecommunications company that was established in 1984, has partnered with Microfinance International Corporation (MFIC), a provider of financial solutions based in Washington DC, to jointly develop a global mobile payment platform. The partnership includes a USD 22 million investment by KDDI in MFIC. The two companies hope to develop a competitive cross-border money transfer system by combining KDDI's network of approximately 600 telecommunications carriers with MFIC's money transfer technology.

米国の資金決済インフラ業者のマイクロファイナンス・インターナショナル・コーポレーション(MFIC、本社：ワシントンDC)が8日付で実施した第三者割当増資を引き受け、優先株として22.9%を出資したと発表しました。金額は22億ドル(約18.4億円)。両社の提携で、携帯を利用した国際送金・資金決済サービスを共同で展開し、提携の第一弾として、KDDIが米国で展開する移民向けMVNO(仮想移動体事業者)において、2011年1月からプリペイド送金カードの販売を始めます。

上記のロイター通信の英文報道は、同志社で学んだ一人の起業家の挑戦に、大企業資本が目に向けた非常に有意義で喜ばしいニュースです！



栢迫篤昌氏は、同志社大学リエゾンオフィス・知的財センター主催の「同志社大学リエゾンフェア」で「米国に於ける産官学連携成功の秘訣」を平成23年1月19日(水)13時新都ホテル陽明殿にて行います。

栢迫氏は、銀行口座を持たず正規の金融サービスを受けられない出稼ぎ労働者や貧困層を対象に独自のインターネットを利用したシステムを開発し、手数料が格安の国際送金サービスを始めました。

長年勤めていた銀行を辞め、「IT技術と先端金融技術を駆使し巨額の移民送金の流れをマイクロファイナンスの活性化に結ぶつけるビジネスモデルを考案、マイクロファイナンス・インターナショナル・コーポレーションを2003年6月米国のワシントンに設立しました。

(文責：北出 至)